

議 案 第 6 6 号

令 和 3 年 度

池 田 市 水 道 事 業 会 計 決 算 説 明 書

1. 水道事業決算報告書（決算書P. 1～4）

（1）収益的収入及び支出（P. 1～2）

〔収 入〕

水道事業収益の予算額は、2,407,978,000 円を計上しました。

水道事業収益の決算額は、2,358,541,625 円で、予算額に対し 49,436,375 円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業収益	1,900,774,636 円
（うち、仮受消費税	171,756,853 円）
営業外収益	457,766,989 円
（うち、仮受消費税	12,337,630 円）

〔支 出〕

水道事業費用の予算額は、2,355,689,000 円を計上しました。

水道事業費用の決算額は、2,180,915,034 円で、予算額のうち 174,773,966 円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

営業費用	2,007,493,694 円
（うち、仮払消費税	66,855,595 円）
営業外費用	173,342,714 円
（うち、仮払消費税	812,600 円）
特別損失	78,626 円

（2）資本的収入及び支出（P. 3～4）

〔収 入〕

資本的収入の予算額は、572,705,000 円を計上しました。

資本的収入の決算額は、376,111,000 円で、予算額に対し 196,594,000 円の減収となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

企業債	363,100,000 円
補助金	13,000,000 円
固定資産売却代金	11,000 円
（うち、仮受消費税	1,000 円）

[支 出]

資本的支出の予算額は、1,641,332,600 円を計上しました。

資本的支出の決算額は、1,338,326,441 円で、地方公営企業法第 26 条の規定による繰越額が 72,600,000 円で、予算額のうち 230,406,159 円が不用額となりました。

決算額の内訳は、次のとおりです。

建設改良費	39,748,804 円
（うち、仮払消費税	3,379,074 円）
企業債償還金	625,676,498 円
施設整備費	671,725,000 円
（うち、仮払消費税	55,200,947 円）
その他資本的支出	1,176,139 円

なお、消費税及び地方消費税納付額は 56,795,500 円で、仮受消費税 184,095,483 円（収益的収入仮受消費税 184,094,483 円と、資本的収入仮受消費税 1,000 円を加えた額）から、控除対象消費税等相当額 127,148,708 円（収益的支出仮払消費税 67,668,195 円と、資本的支出仮払消費税 58,580,021 円及び貯蔵品購入仮払消費税 1,532,787 円の合計額から控除対象外消費税相当額等 632,295 円を差し引いた額）及び貸し倒れ等に係る調整額 151,275 円を差し引いた額です。

2. 水道事業損益計算書（決算書 P. 5～6）

当年度の水道事業の経営実績は、次のとおりです。

1. 営業収益 1,729,017,783 円に対し
2. 営業費用 1,940,638,099 円で、差し引き営業損失は 211,620,316 円となりました。
3. これに営業外収益 445,580,634 円を加えた額から
4. 営業外費用 116,366,909 円を差し引いた額 117,593,409 円が、経常利益です。
5. ここから特別損失 78,626 円を差し引いた額 117,514,783 円が当年度純利益です。前年度繰越利益剰余金は 83,101 円で、117,597,884 円が、当年度末処分利益剰余金です。

3. 水道事業剰余金計算書（決算書P. 7～8）

[資本金]

前年度末残高 9,791,328,139 円に、減債積立金取崩額 110,000,000 円を組み入れた額 9,901,328,139 円が、当年度末残高です。

[資本剰余金]

<受贈財産評価額>

前年度末残高 721,670,000 円から変動はありません。

[利益剰余金]

<減債積立金>

前年度、利益剰余金処分額として積み立てた額 110,000,000 円から当年度取り崩した額 110,000,000 円を差し引き、当年度残高は 0 円です。

<未処分利益剰余金>

前年度未処分利益剰余金 110,083,101 円から減債積立金に積み立てた額 110,000,000 円を差し引いた額 83,101 円が繰越利益剰余金年度末残高で、当年度純利益 117,514,783 円を加えた額 117,597,884 円が、当年度未処分利益剰余金です。

4. 水道事業剰余金処分計算書（決算書P. 9）

当年度未処分利益剰余金 117,597,884 円について、利益剰余金処分額として減債積立金に 117,000,000 円を積み立て、残額 597,884 円は翌年度繰越利益剰余金とするものです。

5. 水道事業貸借対照表（決算書P. 10～11）

令和4年3月31日現在の水道事業の資産、負債及び資本は、次のとおりです。

[資産の部]

1. 固定資産は、

(1) 有形固定資産合計 18,332,045,531 円

(2) 無形固定資産合計 820,203,047 円で

固定資産合計は、19,152,248,578 円（明細はP. 37～38に記載）です。

2. 流動資産は、

- (1) 現金預金 3,145,955,583 円
- (2) 未収金 259,084,632 円から貸倒引当金 7,608,968 円を差し引いた額 251,475,664 円
- (3) 貯蔵品 27,622,012 円
- (4) 前払金 24,200,000 円で

流動資産合計は、3,449,253,259 円です。

以上の固定資産と流動資産の合計 22,601,501,837 円が、資産合計です。

[負債の部]

3. 固定負債は、

- (1) 企業債 8,101,164,155 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 8,101,164,155 円(明細はP. 39～42 に記載)

- (2) 引当金 335,571,240 円

引当金の内訳は、

イ 退職給付引当金 335,571,240 円で

固定負債合計は、8,436,735,395 円です。

4. 流動負債は、

- (1) 企業債 648,694,563 円

企業債の内訳は、

イ 建設改良費等の財源に充てるための企業債 648,694,563 円 (明細は P. 39～42 に記載)

- (2) 預り金 106,962,696 円

- (3) 未払金 241,400,895 円

- (4) 引当金 31,338,266 円

引当金の内訳は、

イ 賞与等引当金 31,338,266 円で

流動負債合計は、1,028,396,420 円です。

5. 繰延収益は、

- (1) 長期前受金 5,737,980,967 円から収益化累計額 3,342,206,968 円を差し引いた
2,395,773,999 円が繰延収益合計です。

以上の固定負債と流動負債及び繰延収益の合計 11,860,905,814 円が、負債合計です。

[資本の部]

6. 資本金は、9,901,328,139 円

7. 剰余金のうち

(1) 資本剰余金は、

イ 受贈財産評価額 721,670,000 円で

資本剰余金合計は、721,670,000 円です。

(2) 利益剰余金は、

イ 当年度未処分利益剰余金 117,597,884 円で、利益剰余金合計は、117,597,884 円です。

剰余金合計の 839,267,884 円は、資本剰余金合計 721,670,000 円に利益剰余金合計 117,597,884 円を加えた額です。

資本合計 10,740,596,023 円は、資本金合計 9,901,328,139 円と剰余金合計 839,267,884 円との合計です。

負債資本合計の 22,601,501,837 円は、負債合計 11,860,905,814 円と資本合計 10,740,596,023 円との合計です。